

掛川市教育委員会定例会会議録

教育委員会事務局

会議の名称	平成27年 8 月掛川市教育委員会定例会		
場 所	市役所南館 教育委員会室	作 成 者	教育委員会教育政策室 富田正昭
開 催 日 時	平成27年 8 月27日(木) 午後 1 時30分から午後 4 時30分まで		
作 成 日 時	平成27年 9 月14日(月)	次回開催日	平成27年 9 月24日(木)
資 料	下記会議次第及び別紙添付資料のとおり		
出 席 者	教育長 教育長職務代理者 委員 委員 委員 教育次長 こども希望部長 山田文子 小野恵美子 永田孝明 松浦昌巳 岩尾千佳子 松本一男 高川佳都夫 学務課長 学校教育課管理係長 社会教育課長 図書館長 教育政策室長 教育政策室教育企画係長 教育政策室主任 中山弘一 佐藤 貢 栗田一吉 村松 武 赤堀賢司 富田正昭 杉村省吾		

会議次第

1 開 会

2 7 月教育委員会定例会会議録の承認について

3 教育長の報告

(事務報告及び行事予定)

4 協議事項

- (1) 掛川市教育委員会の事務に関する自己点検・評価報告書について (資料 1)
- (2) 「よりよい教育のための円卓熟議」について (資料 2)
- (3) 私立幼稚園就園奨励費補助金制度について (資料 3)

5 報告事項

- (1) 平成27年度全国学力・学習状況調査の結果について (資料 4)
- (2) 9 月市議会定例会日程について (資料 5)
- (3) 教育委員会 9 月補正予算 (案) について (資料 6)
- (4) 平成26年度教育委員会決算審査結果について (資料 7)
- (5) 掛川市内小中学校のあらわれについて (資料 8)
- (6) 英語体験活動の実施報告について (資料 9)
- (7) 平成27年度東海大会・全国大会出場生徒の大会結果について (資料 10)
- (8) 掛川市立学校評議員の報告について (資料 11)
- (9) 教育委員会主要事務事業について (資料 12)
- (10) 第11回「市民スポーツ交流フェスティバル」について (資料 13)
- (11) 「金次郎と掛川の偉人検定について (資料 14)
- (12) 吉岡大塚古墳の枯れ草火災について (資料 15)
- (13) 真夏の夜の図書館・夜の学校実施報告について (資料 16)
- (14) 市立図書館事業について (資料 17)
- (15) 公立幼稚園における利用者負担額の激変緩和措置について (資料 18)

6 その他

- (1) 教育委員視察研修について (資料 19)
- (2) 平成27年度「キラリ！ふれあいコンサート」の開催について (資料 20)
- (3) 次回定例会の日程等について (資料 21)
- (4) その他

7 閉 会

協議事項

(1) 掛川市教育委員会の事務に関する自己点検・評価報告書について

教育政策室主任から、掛川市教育委員会の事務に関する自己点検・評価報告書について説明があった。

自己点検・評価報告書については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条に基づき実施されるものである。今回の対象は平成26年度である。

点検・評価の方法であるが、自己点検・評価シートを作成し、主要事業ごとに自己点検・評価を行い、反省や今後の改善点などを記入していくものである。

今年度の評価委員会は、山崎委員長をはじめ、4人の委員により、第1回を5月27日、第2回を7月21日に開催した。

評価対象となる主な活動としては、教育委員会の活動、幼児教育、学校教育、社会教育、図書館の5つの活動である。

5つの活動の中の主要な取り組みに関して、平成25年度の実績と改善点、その改善を踏まえた平成26年度の実績、その実績に関する点検と評価、次年度に向けた改善点を示し、点検・評価する形式の報告となっている。

山崎委員長からは、次のとおり総合評価をいただいている。

教育委員会全体としては、人づくり構想かけがわの進捗を中心に、次年度への継続発展に繋がることを目的に実施されているとの評価をいただいた。

項目ごとの評価であるが、「1 教育委員会の活動」については、定例会、臨時会、市長部局との協議によって、教育行政の円滑な執行が図られ、総合教育会議の発足に向け市長部局との連携に必要な配慮がなされている 等の評価をいただいている。

「2 幼児教育」については、総合的な園の運営がなされており、積極的な研修の実施や担当者の資質能力向上が図られているとの評価をいただいている。

「3 学校教育」については、中学校区学園化構想を中心に、学力の充実、かけがわ道德普及、安心安全な教育環境や学校給食の推進など、掛川市の特徴を活かした施策が展開されているとの評価をいただいている。

「4 社会教育」については、声掛け運動参加者数が県内1位であることや、社会教育に対する人的支援の充実に関する評価をいただいている。

「5 図書館」については、図書館フェスティバルなどの特色ある取り組みに関して、組織的な活動が推進されているとの評価をいただいている。

今後の課題としては、一つ目に、総合教育会議を軸に、「アクティブ・チャイルド実践集」などの新規事業を充実させることや読書活動の一層の推進を図り、図書館利用者の減少に対する対応が必要であると指摘をいただいている。

二つ目には、文化施設を活用した教育施策を総合的に推進していくことや、文化施設に精

通した職員等の養成など、文化の伝承と発展に関する指導をいただいている。

三つ目に、学力向上と安全安心な教育環境の整備について、確かな学力の向上、信頼される学校の確立、防災教育などの取り組みは常に重要であるとの指導をいただいている。

今後、委員の皆様のご意見等を踏まえ、山田教育長に評価を受けてのコメントを作成していただき、9月の議会で報告をしていく予定である。

委員：山崎委員長からの評価コメントについては、比較的良い評価をいただいているが、課題等のコメントはあったのか。

教育政策室：総合評価の中に「高く評価できる点」というコメントの後に「今後の課題となる点」というコメントがあり、そこで課題となる点についてのコメントがあるので、一読願いたい。

委員：山崎委員長の総合評価の中の「幼児教育」についてのコメントの中に、「アクティブ・チャイルド・プログラム」とあるが、どのようなプログラムであるのか、教えてほしい。

教育政策室：資料の用語解説の中で、解説されているが、「子どもの発達段階に応じた体力向上プログラムのことであり、元気で活動的な子どもを育むために「やってみたい」「面白い」と感じるような運動遊びを提案し、支援や環境を工夫する」ものである。

教育長：補足説明すると、現在土方幼稚園が、2年間の研究指定を受けていて、11月に研究発表会が予定されている。多様な動きを取り入れたプログラムを設定したり、施設の廊下等に丸印が描かれていて、園児が普段から運動に親しんだり、興味を持つことにより運動能力を高めることを目的とした事業である。

その他、特に意見はなく、承認された。

(2) 「よりよい教育のための円卓熟議」について

教育政策室主任から、「よりよい教育のための円卓熟議」について説明があった。

円卓熟議に関しては、教育委員と、教育現場に関わる様々な立場の方々が「熟慮」と「議論」を重ね、教育に関する身近な課題の解決や政策形成に繋げることを目的に、平成22年度から開催し、今年度で7回目となる。

学校現場の諸課題等について、より効果的に行政に反映させるため、教育委員と教職員が意見交換を行うことを趣旨として名称を「教育ディスカッション」とし、今年度の円卓熟議を実施したいと考えている。

今年度の日程及び会場は、平成27年10月19日月曜日午後2時30分から4時30分で、教育委員会2階会議室での開催を予定している。

教育委員と各中学校の後期生徒会長に参加を依頼し、「我が校の特色ある生徒会活動」をテーマに、生徒会活動を通して、生徒が感じている学校の現状や課題などについて学習・熟慮し、議論していただくことを考えている。

参加者は、教育長、教育委員4名、各中学校の後期生徒会長9名、教育委員会事務局の予定である。

特に意見はなく、承認された。

(3) 私立幼稚園就園奨励費補助金制度について

こども希望部長から、私立幼稚園就園奨励費補助金制度についてについて説明があった。

掛川市では、公私立幼稚園の保育料の格差を是正するため、また保護者の経済的負担を軽減するため、私立幼稚園へ通園する園児の属する世帯を対象に補助金を交付している。さらに、平成27年度からは、多子世帯に対して補助額の拡充を行い、幼稚園年少から小学校3年生までの範囲において第2子は1子の保育料負担額の半額、第3子以降は無償化を実施する。

市の補助基準での補助額の上限は、生活保護世帯が、30万8千円で、実質無料。市民税非課税世帯が11万1千円、所得割非課税世帯が9万6千円、所得割4万3千円以下の世帯が8万1千円等となっている。第2子については、第1子の実質負担と比較して、2分の1となり、第三子以降は、実質的に無償化となる。

多子世帯のカウント範囲について、例えば、幼稚園の年少から小学校3年までの範囲内に子どもが2人以上いる場合、最年長の子どもを第1子、その下の子を第2子とカウントする。ただし、第1子が年小から小学校3年までの範囲外になった場合、例えば小学校4年以上になった場合は、それまで第2子だった子どもを第1子とカウントする。

掛川市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱では、新たに今説明した補助額の基準を追加し、旧の補助金交付要綱を廃止した。

委員：国の補助制度に基づいて、掛川市も幼稚園年少から小学校3年生の範囲内の子どもだけに補助するのは、疑問である。基本的には、何人子どもを産み、何人子どもを育てたかが重要であると思う。若い人たちに掛川市に定住していただくために、掛川市独自の取り組みとして、できる限り年齢等の制限を無くし、子どもを産み育てやすい環境づくりが必要と考える。

こども希望部長：委員のお考えは、もつともである。今回は、予算的な事情もあり、国の基準を基本として補助を実施していくが、将来的に、掛川市は、子育て日本一を目指し、総合計画の重点施策を策定している中に、子育て世代の経済的な負担の軽減という項目を盛り込み、事業を展開していく考えである。担当としては、段階的に高校生くらいまで範囲を拡大しようと考えている。

委員：確認であるが、幼稚園の年少から小学校3年までの範囲内の子どもを対象としているため、6年間の短期間に、間を置かず子どもを産み育てないと、補助の対象外となるという考え方でよろしいか。

また、市内の私立幼稚園の保育料は年間いくら程度であるか。

こども希望部長：そのとおりである。例えば、第1子と第2子の間に、5歳以上間が空いていると対象にならない。

入園料も含めた保育料の年額であるが、一番安い園が、21万2千円、一番高い園が、27万3千円8百円である。

その他意見はなく、承認された。

報告事項

(1) 平成27年度全国学力・学習状況調査の結果について

学校教育課管理係長から、平成27年度全国学力・学習状況調査の結果について、以下のとおり説明があった。

平成27年度全国学力・学習状況調査の結果について、25日火曜日に国から結果が届いたの
で報告する。

掛川市の結果であるが、昨年度から全国及び県の平均正答率を100とした時の掛川市の
平均正答率を示した指標値で報告している。本年度もこの指標値で報告・公表をすることと
し、小中学校別の結果を示すこととした。

まず小学校であるが、国と比較すると、国語A101、国語B103、算数A104、算
数B100、理科100という結果だった。県と比較すると、国語A98、国語B100、
算数A101、算数B99、理科101という結果だった。国語Aと算数Bは県平均より1
～2ポイント低かった。

次に中学校であるが、国・県と比較すると、国語A、国語B、数学A、数学B、理科の調
査結果のすべてにおいて、全国平均、県平均よりも上回ったという結果であった。中学校は、
平成24年度までさかのぼって見ても、すべて全国・県平均よりも高いポイントを出している。

特に成果として言えることは、平成24年度に実施した6年生の子どもたちである現在の中
学校3年生が、当時、すべての教科において全国の平均正答率より低かったのであるが、そ
の子どもたちが、中学校3年生となり、今回の調査で、逆に、すべての教科において、全国
平均、県平均よりも上回ったということである。このことは、子どもの成長が感じられ、た
いへん嬉しく思う。また、今回、心配されていた理科の調査が、3年ぶりに行われたが、小
学校は、全国との比較では2ポイント高かった。中学校は県との比較では同じで、全国では
1ポイント低い結果となった。

その他では、特に「学力の高い子 掛川10の法則」について説明する。これは、児童生
徒へ質問紙による調査を行っていて、その調査結果と学力状況調査の正答率をクロス集計し
た結果となる。「朝食を毎日食べている。毎日同じ時刻に起きている。」などは基本的な生
活習慣として当たり前の部類に入るかと思うが、このような回答をしている児童生徒は正答
率が高かった。今回、昨年度と比べ、はっきりと結果として表れたのが、「家の人と学校で
の出来事を話す。家の人は参観会など学校行事に来る。地域や社会で起こっている出来事
に関心がある。」の3項目である。このような表れが出てきたということは、掛川市が推進し
ている「学園化構想」や「お茶の間宣言」などの教育的理念が、徐々に家庭や地域に浸透し
てきているものと思われる。

「掛川の子どもたちの特長」としては、「自分にはよいところがあると思う。」という自己
肯定感を表す数値や、「地域の行事に参加している」という数値が高いところである。掛川
の子どもたちのとても良い表れである。

なお、今後の予定であるが、9月から11月までに調査結果分析委員会を数回開催し、掛川
市全体の成果と課題について明らかにしていく予定である。

委員：全国学力・学習状況調査の答案用紙は、個人に返すのか。また、面談しながら返すのか。

教育長：答案用紙は返さないが、各学校で個人の点数等を分析し、一人一人個票で返し、父兄に
渡ることとなる。面談については、学校によって違う。

以前、静岡県の国語の点数が、低い結果に終わった後の反省として、子どもたちがページ

をめくる試験に不慣れだったことや、今求められている学力は何かをつかんでいなかったこと等が挙げられる。その反省を踏まえ、授業等の改善をした結果、現在の調査結果がある。

委員：学校の年間スケジュールの中で、夏休みの日数が、各学校によって違うのはなぜか。

教育長：夏休みの日数等を決定する基準は、各教科の授業時数や学校行事等によって決まる。各教科によって、国で定められた年間の授業時数を確保する必要がある。各学校によって、行事の差もあるため、その結果、授業日数の違いが生じ、長期休暇の差にもなってくる。

委員：掛川市の特徴としては、自己肯定感が高い子が全国と比べて高いことが挙げられる。逆に、自己肯定感の低い子に対しては、教職員が、子どもの意識を変えていく必要があると考える。

教育長：今回掛川市の学力・学習状況調査の結果が良かった要因としては、子どもたちの努力や学園化構想の中、教職員による15年間を見すえた小中連携や地域との連携をきちんとして、授業改善に取り組んだことが挙げられる。

(2) 9月市議会定例会日程について

教育政策室長から、9月市議会定例会日程について、以下のとおり説明があった。

会期については、9月3日木曜日から10月7日水曜日までの35日間である。16日水曜日から17日木曜日にかけて、一般質問が行われる。9月議会の特徴としては、28日月曜日から29日火曜日にかけて、一般会計決算特別委員会が開催されることである。その他の予定については、概ね例年どおりである。

(3) 教育委員会9月補正予算（案）について

教育政策室長から、教育委員会9月補正予算（案）について、以下のとおり説明があった。

歳入の補正予算総額は、464万4千円であり、内訳は、「和田岡古墳群史跡整備事業費補助金」の内、国庫補助金が、既決予算額114万7千円に対し348万3千円の増額、県補助金が既決予算額38万2千円に対し116万1千円の増額補正である。

歳出の補正予算総額は、379万2千円であり、3つの事業費が要求されている。内訳として、1つ目の事業は「就学指導推進費」であり、既決予算額136万4千円に対し22万4千円の増額補正である。2つ目の事業は「道德教育抜本的改善・充実支援事業費」であり、文具消耗器材費を1万9千円減額し、普通旅費を4千円、費用弁償を1万5千円、それぞれ増額する組替補正である。3つ目の事業は「吉岡大塚古墳基本設計委託料」であり、既決予算額340万円に対し356万8千円の増額補正である。

(4) 平成26年度教育委員会決算審査結果について

教育次長から、平成26年度教育委員会決算審査結果について、以下のとおり説明があった。

平成26年度決算の審査については、去る8月5日水曜日に各課、11日火曜日に教育政策室の審査が行われ、当日、口頭により教育委員会全体の講評を頂いた。

各課共通した事としては、何れの課も、予算及び事務事業の執行状況については、目的に

従い、おおむね適正に執行されていると認められるとのことであった。

各課特記事項として、学務課では、学校給食事業において、アレルギー疾患への対応、ノロウイルスの発生防止等、保護者の不安軽減と、給食費自己負担金において収入未済が生じているので、未収金の早期回収と新たな滞納金の発生防止に努力願いたいとの指摘があった。

学校教育課では、防災教育の推進、防災訓練の実施、いじめ防止策の強化と学校サポーターや地域ボランティア等との協働による子どもの育成と掛川の風土に根ざした道徳、国際化を意識した英語教育、ICTを活用した学びなど、多様な事業推進に努められたいとの指摘があった。

社会教育課では、社会教育・スポーツ施設の指定管理において、複数の施設管理契約を集約する等、事務の効率化、経費の削減に努力することや「中学校区学園化構想」において、15歳までの一貫教育と地域ぐるみの教育活動が、掛川市の未来を担う人材育成に繋がるものと期待するとの講評を頂いた。

図書館では、各図書館の特色を生かした蔵書の調整等を図り、図書の充実に努力願いたいとの指摘や利用者数が減少傾向にあるので、各課との連携による新事業の開拓など、魅力ある図書館にしていきたいという、講評があった。

次に、教育委員会全体としての講評は、3点あり、1つは、職員数の削減が進んでいて、一人に課せられる業務量が増加しているので、所属内の業務を平準化して、時間外勤務の抑制に努め、またメンタルヘルスに留意した職員管理をすること。

2点目は、国の動向と最新情報の収集に努め、各事業を円滑に推進すること。

3点目は、今後も、住民サービスと費用対効果を念頭におき、法令、条例、規則、予算等に従って適正に執行していただくようお願いしたいとのことであった。

(5) 掛川市内小中学校のあらわれについて

学校教育課管理係長から、掛川市内小中学校のあらわれについて、以下のとおり説明があった。

まず、ここ最近のトピックの主なものであるが、大坂小5年生の鈴木龍神（りょうが）さんが、全日本少年少女けん玉道選手権大会の東海地区予選大会で優勝し、地区代表として全日本選手権に出場するということである。

次に、掛二小1年生の石原季歩（きは）さんが、全日本少年少女空手道選手権大会の静岡県大会で1年生女子組み手で準優勝し、全国大会へ出場するということである。

次に、中学校総合体育大会の県大会で上位の結果を出し、東海大会または全国大会出場へ出場する選手を激励する会が開催されたことである。今年は、好成績で、団体・個人を合わせて55人もの選手が出場することになった。結果については後ほど報告することとする。

次に、掛西学園の体験学習である。西高を会場とした「わくわく実験教室」と、東高を会場とした「エンジョイ イングリッシュ」が8月10日に開催され、小学生・中学生・高校生が自然科学や英語の体験学習で交流を深めたというものである。

次に、7月の交通事故についてであるが、小学校は4件、中学校は2件の交通事故の報告が学校からあがってきた。いずれも、車と自転車の接触事故である。中学校の1件だけ、ドクターヘリで静岡の県立こども病院へ搬送された事故があったが、命には別状なく、数日後に退院している。その他は軽い打撲・擦過傷等である。

次に、7月の非行等問題行動についてであるが、小学校は6件、中学校は13件あった。ここ3ヶ月ほど無かった小学校「万引き」と中学校の「ネットトラブル」であるが、今回7月に報告があがってきた。

7月の不登校児童生徒であるが、小学校は16人、中学校は37人だった。

次に7月のいじめ問題であるが、小学校は1件、中学校は3件で、内容は「からかい、いやがらせ、悪口」等で、発見後は継続指導観察中である。

(6) 英語体験活動の実施報告について

学校教育課管理係長から、英語体験活動の実施報告について、以下のとおり説明があった。

本年度は、7月30日・31日・8月4日の3日間で、さくら咲く学校で開催した。応募状況については、定員が120名のところ、全部で142名の応募があった。実際の参加者は、30日が28名、31日が33名、4日が39名という状況であった。内容については、昨年度まで実施していたイングリッシュイマージョンキャンプ及びデイトリップと、基本的には同じで、伝言ゲームや仲間づくりゲーム、自然を親しむ活動などを行った。子どもたちの感想であるが、いずれも英語体験ができたことの満足感、充実感を述べたものばかりであった。また、子どもたちの姿として、積極的に英語でコミュニケーションをとろうと頑張った様子が見られ、外国へ行ってみたい、外国で働いてみたいなどの気持ちを強めた子どもたちが多く、これまで以上に成果をあげることができたと、指導主事・ALTの職員の手応えを感じているようだった。泊まりでなく開催したため、内容の濃いものとなり、充実していたと思う。

(7) 平成27年度東海大会・全国大会出場生徒の大会結果について

学校教育課管理係長から、平成27年度東海大会・全国大会出場生徒の大会結果について、以下のとおり説明があった。

今回は、県大会で多くの学校の部活動が活躍をした。7つの中学校から55人もの選手が東海大会または全国大会へ出場した。

主な結果のみ紹介する。まず、大須賀中学校の剣道部は、昨年に引き続き、団体の部で東海大会で優勝した。全国大会は昨年は3位であったが、今年は入賞することはできなかった。北中の陸上で、松本大生君が「走り高跳び」で、東海大会2位で全国大会へ出場した。東中の水泳で、松村希良軌君が「100m自由形」で東海4位、200m自由形で全国大会へ出場した。

(8) 掛川市立学校評議員の報告について

学校教育課管理係長から、掛川市立学校評議員の報告について、以下のとおり説明があった。

学校教育法施行規則第49条、掛川市立小中学校の管理に関する第32条及び掛川市公立学校評議員設置要項の規定により決定された、掛川市公立学校評議員についてご報告する。

今回は、城東中1校のみ、学校長から報告があった。裏面に推薦書があるが、1名のみが新任で、他はすべて再任となっている。新任は、PTA役員の経験もある保護者であり、適任であると聞いている。

(9) 教育委員会主要事務事業について

教育委員会各課から、教育委員会主要事務事業について以下のとおり説明があった。

教育政策室については、「かけがわ教育の日」開催事業、「中学校区学園化構想」事業の推進、「かけがわお茶の間宣言」の普及促進、「はばたけ未来の吉岡彌生賞」事業等の推進について説明があった。

学務課については、「西中学校校舎増築事業」、「小学校屋内運動場改築事業」、「緊急地震速報システム設置事業」、「学校給食センター事業」他2事業の進捗状況等について説明があった。

学校教育課については、「英語体験活動」、「かけがわ学力向上ものがたり」、「かけがわ道徳」、「指定研究であるICT活用研究」他3事業について説明があった。

社会教育課については、「60歳の集いの開催」、「成人式の開催」、「生涯学習センターホール客席天井改修事業」、「吉岡彌生記念館事業」、「松ヶ岡プロジェクト推進事業」外4事業について説明があった。

図書館については、「掛川市図書館協議会」、「掛川市子ども読書活動推進会議」、「子ども読書週間関係事業」、「新規図書館システムの選定」、「中央図書館シーリング打ち替え工事等」について説明があった。

(10) 第11回「市民スポーツ交流フェスティバル」について

社会教育課長から、第11回「市民スポーツ交流フェスティバル」について、以下のとおり説明があった。

このフェスティバルは、毎年開催され、今年で11回目を数える。市制10周年、さんりーな入館者300万人達成記念のイベントとして、9月20日日曜日午前9時から、さんりーな、B G体育館、大池公園を会場として開催される。

教育委員の皆様については、一市民として参加していただきたい。

(11) 「金次郎と掛川の偉人検定」について

社会教育課長から、「金次郎と掛川の偉人検定」について、次のとおり説明があった。

市制10周年記念事業「金次郎と掛川の偉人検定」の実績について報告する。

社会教育課では、偉人検定を8月23日日曜日の午前中に、大日本報徳社の大講堂において実施し、中級である2級は12人、初級である3級は23人の合計35人から申し込みがあり、当日は、中級が一般成人11人が受験し、初級が一般成人9人、小学生13人、中学生1人が受験した。最少年齢は、小学校1年生の6歳、最高年齢は、75歳であった。2級については、「なるほどなっとく金次郎」と「この人に学びたい～掛川の偉人ものがたり」から抽出した30問が出題され、3級については、「なるほどなっとく金次郎さん」から抽出した30問が出題された。合格基準は、2級が正解率80%以上、3級が正解率70%以上で合格となり、2級については、11人全員が合格し、3級については、23人中22人が合格した。合格発表は、今後、市のホームページに受験番号を公開していく予定となっている。今後の課題としては、より多くの方に受験していただくこと等で、人集めを含め、検討していきたいと考えている。

(12) 吉岡大塚古墳の枯れ草火災について

社会教育課長から、吉岡大塚古墳の枯れ草火災について、以下のとおり説明があった。

火災の概要であるが、8月15日土曜日15時35分に通報があり、16時55分に鎮火した。状況としては、古墳敷地内の枯れ草から出火し、敷地面積の約3割が焼失した。原因は不明で、現在調査中である。

(13) 真夏の夜の図書館・夜の学校実施報告について

図書館長から、真夏の夜の図書館・夜の学校実施報告について、以下のとおり説明があった。

8月7日金曜日に実験企画として初めて開催した「真夏の夜の図書館」の実施状況を報告する。この真夏の夜の図書館は、通常より遅い時間午後9時まで図書館を開館し、いつもと違った雰囲気の図書館を体験してもらい、図書館の存在をPRすることで、新たな利用者の拡大につなげることを目的に開催した。真夏の夜の図書館では、音楽がBGMで流れるいつもと違った雰囲気の図書館を来館者に楽しんでいただき、大変よかったと評価をいただいた。

また、地下の会議室では、ほんわかブッククラブ主催の大人向けの「夜の学校」が開催され、多くの参加者があり、読み聞かせや語り芝居などの真夏の夜のひとときを楽しんでいた。

今後は、大変良かったと評価をいただいたので、これを機会に季節毎に、ほんわかブッククラブなどの読書活動グループと協働により夜の図書館を計画していきたい。次回は、秋の読書週間に合わせ、11月7日金曜日に「秋の夜長の図書館」を開催を計画している。参考に新聞記事の切り抜きを添付したので、御覧いただきたい。

(14) 市立図書館事業について

図書館長から、市立図書館事業について、以下のとおり説明があった。

市立図書館が主催する、これから行われる展示やイベントの主なものを紹介する。

最初に大須賀図書館で、平松誠氏製作の「ミニ祢里」展が9月5日まで行われている。

続いて大東図書館では、「遠州横須賀展」が11月1日まで行われている。これは、5月に旧横須賀藩主西尾忠愛氏から掛川市に寄贈していただいた「西尾家文書」を中心に、「横須賀城趾絵図」などの遠州横須賀に関係する資料を展示している。今回この展示会を開催するにあたり、西尾家文書を詳しく読み込んだ結果、興味深い新たな発見もあり大変見応えのある内容となっているので、見学していただきたい。

続いて、中央図書館では、国内外で読書推進活動を展開しているNGO団体「シャンティ国際ボランティア会」の活動紹介ポスター展を9月6日まで開催している。内容は東日本大震災で被害を受けた福島、宮城、岩手の3県を巡回する移動図書館の様子を紹介するポスターが展示されている。

続いて、「戦後70年の肉声 漫画と朗読で伝える 私の八月十五日展」が9月26日から中央図書館で開催される。これは、70年前の8月15日をどう迎えたか、漫画家や著名人の方々の8月15日を漫画と文章で展示する。

最後に、今年の図書館フェスティバルのメイン行事として、自治総合センターの助成により「中川ひろたかファミリーコンサート」が11月7日に大日本報徳社大講堂で開催される。参加者募集が9月6日から始まるので、事前にお知らせした。

最後に、毎年発行している図書館の統計資料「掛川市の図書館」ができあがったので、参考にしていただきたい。

委員：図書館の事業に関連して、「夜の図書館」でも協賛いただいた「わくわく文庫」であるが、現在、継続して実施しているところである。今後、子育て支援の補助金をいただきながら第2回の「わくわく文庫」のイベントを12月に企画しているので、関係者の皆様方の御協力をいただき、有意義な会としたい。

(15) 公立幼稚園における利用者負担額の激変緩和措置について

こども希望部長から、公立幼稚園における利用者負担額の激変緩和措置について説明があった。

平成27年度から始まった子ども・子育て支援新制度における公立幼稚園における保育料は、国が定める基準を限度として市が定めることとなった。

幼稚園の利用者負担額については、平成27年度はこれまでの利用者負担額と同水準とし、公立幼稚園と私立幼稚園との格差が大きな課題となっていることから、平成28年度から平成32年度にかけて、国が示した応能負担、公私立幼稚園同額設定を実施するため、公立幼稚園利用者負担額の激変緩和措置を行う。これは、保育料の支払い能力に応じて負担していくという応能負担の考え方である。現在、公立幼稚園の保育料は、一律月額6千円である。私立幼稚園の保育料は、1万6千円から1万9千9百円である。6千円の保育料を4年間かけて、5段階で新しい額に変更していくものである。

多子軽減については、幼稚園年少から小学校3年までに子どもがいる場合、2人目は半額、3人目以降は、無料とする。

委員：南部のある保護者からは、幼稚園等の施設環境が変わらないのになぜ、保育料の負担が増すのか納得がいかないという切実な意見があった。確かに、ハード面の平等がないのに、お金の平等を求めることは、理にかなっていないと思うし、これに伴い学区の再編等も検討していく必要があると思う。今後、将来の幼稚園の再編や施設の改善等の方針を示さない限り納得しないように思う。

しかし、合併以降に市から施設の改善計画が示されているにも関わらず、実施に至っていないのは、納得がいかない。

こども希望部長：委員の御意見は、充分理解できる。南部の幼稚園施設は、建設から30年以上経過し、老朽化が進んでいるので、幼保再編とともに、改善計画を示すなど検討していく。幼保再編については、市長との協議の中で、今年度中に市民の皆さんの意見を聴く組織を整え、その意見を聴きながら方針を決めていく予定である。

その他

(1) 教育委員視察研修について

教育政策室教育企画係長から、教育委員視察研修について提案があった。

視察の時期について、概ね来年の1月か2月に決定。次回に具体的な視察目的や視察先等の提案する予定である。

(2) 平成27年度「キラリ！ふれあいコンサート」の開催について

学校教育課管理係長から、平成27年度「キラリ！ふれあいコンサート」の開催について、概要の説明があった。

今年は、10月28水曜日に南会場としてシオーネで、11月5日木曜日に北会場として生涯学習センターで開催する。それぞれ、午前、午後の部に分かれている。教育委員の皆様には、来賓として、いずれかの会場へお越しいただけるようお願いする。お好きな会場へ何回でもお越しただいて構わないので、よろしくお願いします。

教育委員の出席予定は、以下のとおり決定した。

- | | | |
|-----------------|------|-----------|
| ・ 南会場（シオーネ） | 午前の部 | 小野教育長職務代理 |
| | 午後の部 | 永田教育委員 |
| ・ 北会場（生涯学習センター） | 午前の部 | 岩尾教育委員 |
| | 午後の部 | 松浦教育委員 |

(3) 次回定例会等の日程等について

① 9月教育委員会定例会日程

日 時： 9月24日（木） 午後2時00分～
開催場所： 南館教育委員会室

② 10月教育委員会定例会日程

日 時： 10月29日（木） 午後1時30分～
開催場所： 未定

③ 11月教育委員会定例会日程

日 時： 11月24日（火） 午前10時00分～
開催場所： 未定

(4) その他の予定について

① 円卓熟議

日 時： 10月19日（月） 午後2時30分～
開催場所： 教育委員会会議室

② かけがわ教育の日

日 時： 11月21日（土） 午前9時00分～
開催場所： 大須賀中央公民館

